

新湾岸道路プロジェクトについて

令和8年5月 9日（土）

令和8年5月10日（日）

国土交通省 千葉国道事務所

1. プロジェクトと位置付け、経緯

新湾岸道路(外環高谷JCT周辺から蘇我IC周辺ならびに市原IC周辺)計画の検討に関する情報をお届けします!

未来をつなぐ 新湾岸道路プロジェクト



2024.11

「新湾岸道路プロジェクト」が始まりました!

新湾岸道路は、「関東ブロック新広域道路交通ビジョン・計画」及び「千葉県広域道路交通ビジョン・千葉県広域道路交通計画」において高規格道路に位置づけられた、外環高谷JCT周辺から蘇我IC周辺ならびに市原IC周辺を結ぶ調査中の道路です。千葉県湾岸地域は、首都圏の経済活動を支える重要な拠点を有し、今後も港湾機能の強化や物流施設の立地等に伴う交通需要の増大が見込まれる一方、慢性的な渋滞が発生しており、交通円滑化が喫緊の課題となっています。

このような状況を踏まえ、新湾岸道路の計画の具体化にあたっては、広く関係する方々の意見を把握しながら丁寧に合意形成を図る必要があることから、新湾岸道路有識者委員会を設立して検討を進めています。

📍 新湾岸道路プロジェクトとは

新湾岸道路の構想の具体化では、詳細な計画(都市計画)を定める前に、先ず概略ルート・構造を示した概略計画を定めます(構想段階)。

新湾岸道路の沿線地域には、三番瀬等の貴重な自然資源があり、予め十分な配慮が必要です。このため、構想段階における新湾岸道路プロジェクトでは、沿線の皆様とコミュニケーションを重ねながら、新湾岸道路の概略計画の検討と併せて、沿線地域の関連する課題についても一体的に検討していきます。

今後、透明で公正な進め方となるよう有識者委員会の助言を受けながら、概略ルート・構造等の検討を進めていきます。

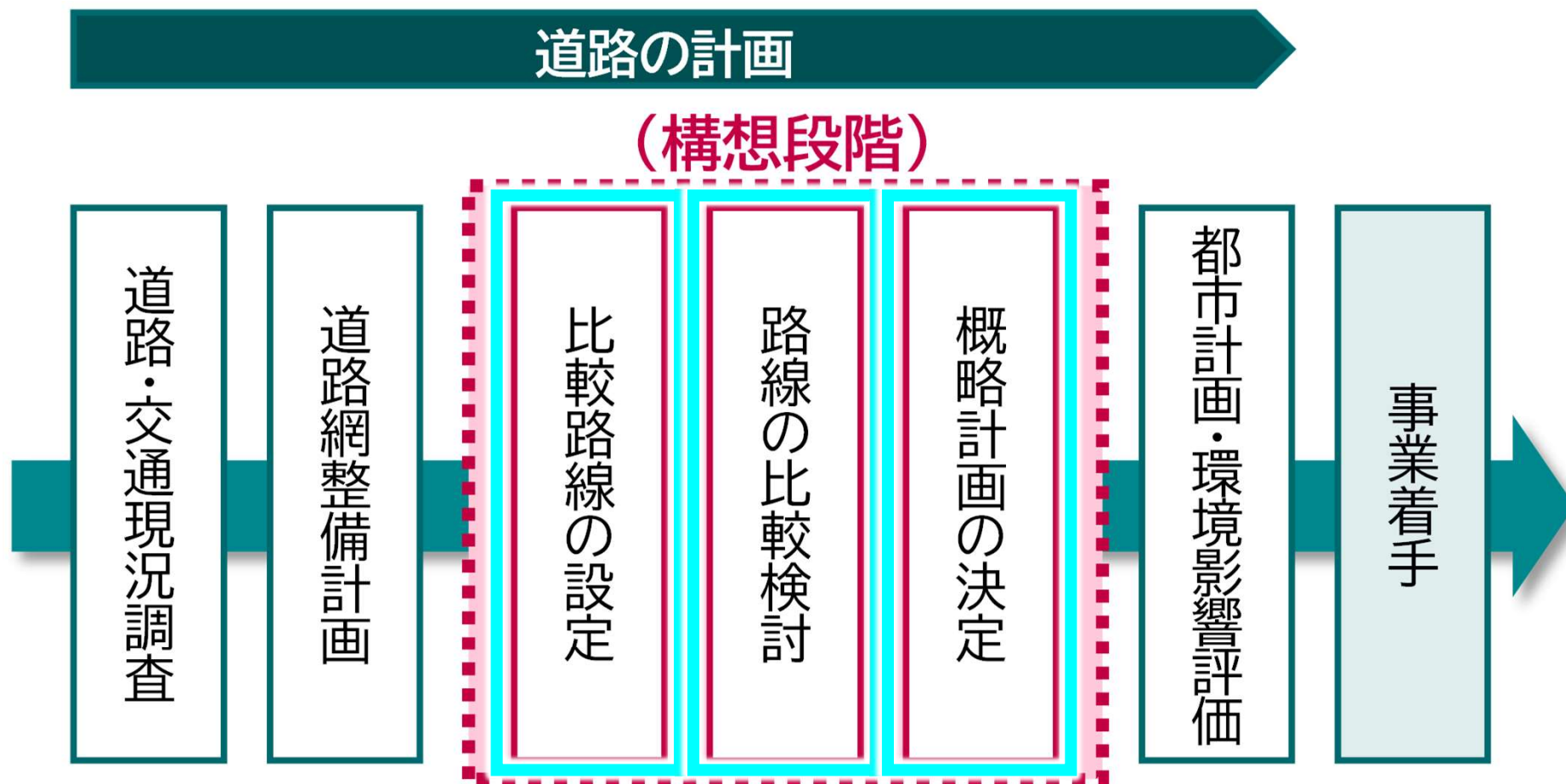


出典「国土数値情報(行政区域・鉄道・河川)」(国土交通省)を加工して作成。車線数は全国道路・街路交通情勢調査(R3)を基に分類した。※ 調査中路線は、概ねのルートを示しているものではありません。

1. プロジェクトと位置付け、経緯

創刊号

2024.11



出典) 道路行政の簡単解説 1.道路事業の流れ,国土交通省HPを元に作成

道路事業の流れと検討対象範囲(構想段階)

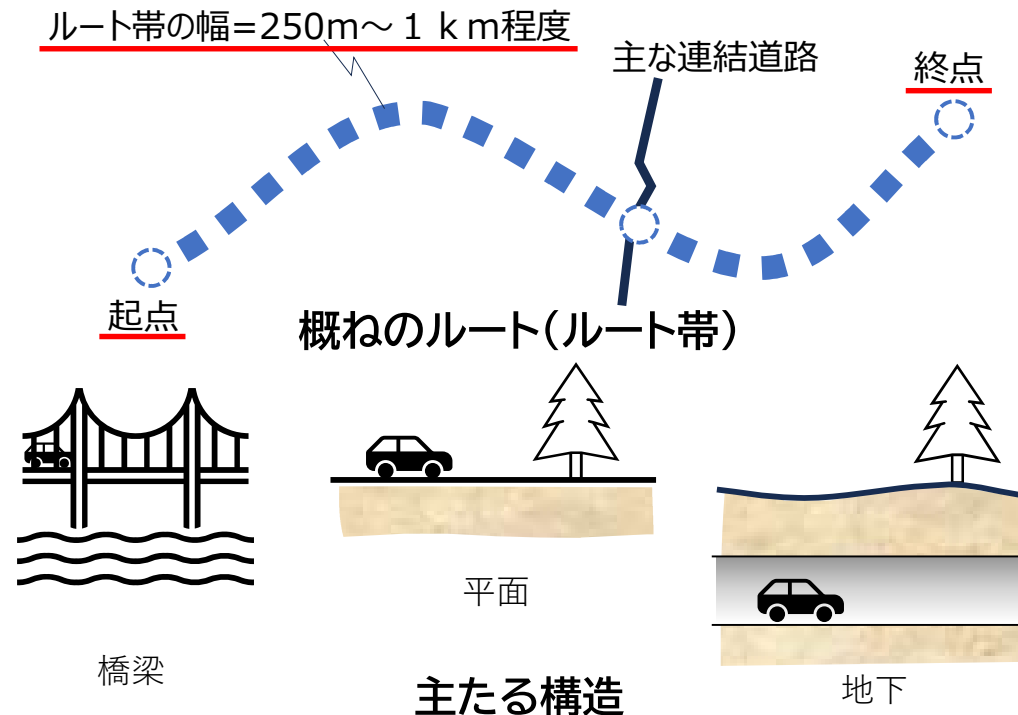
1. プロジェクトと位置付け、経緯

概略計画とは

創刊号

2024.11

概略計画では、新たな道路について、①起終点、②車線数などの諸元、③概ねのルート(ルート帯)、④主な連結する道路、⑤主たる構造、⑥その他必要な事項を定める計画です。概ねのルートは、250m～1km程度の幅を持つルート帯として図示され、後に定める都市計画の案の前提となりますが、ルートが通過する土地の範囲を規定するものではありません。



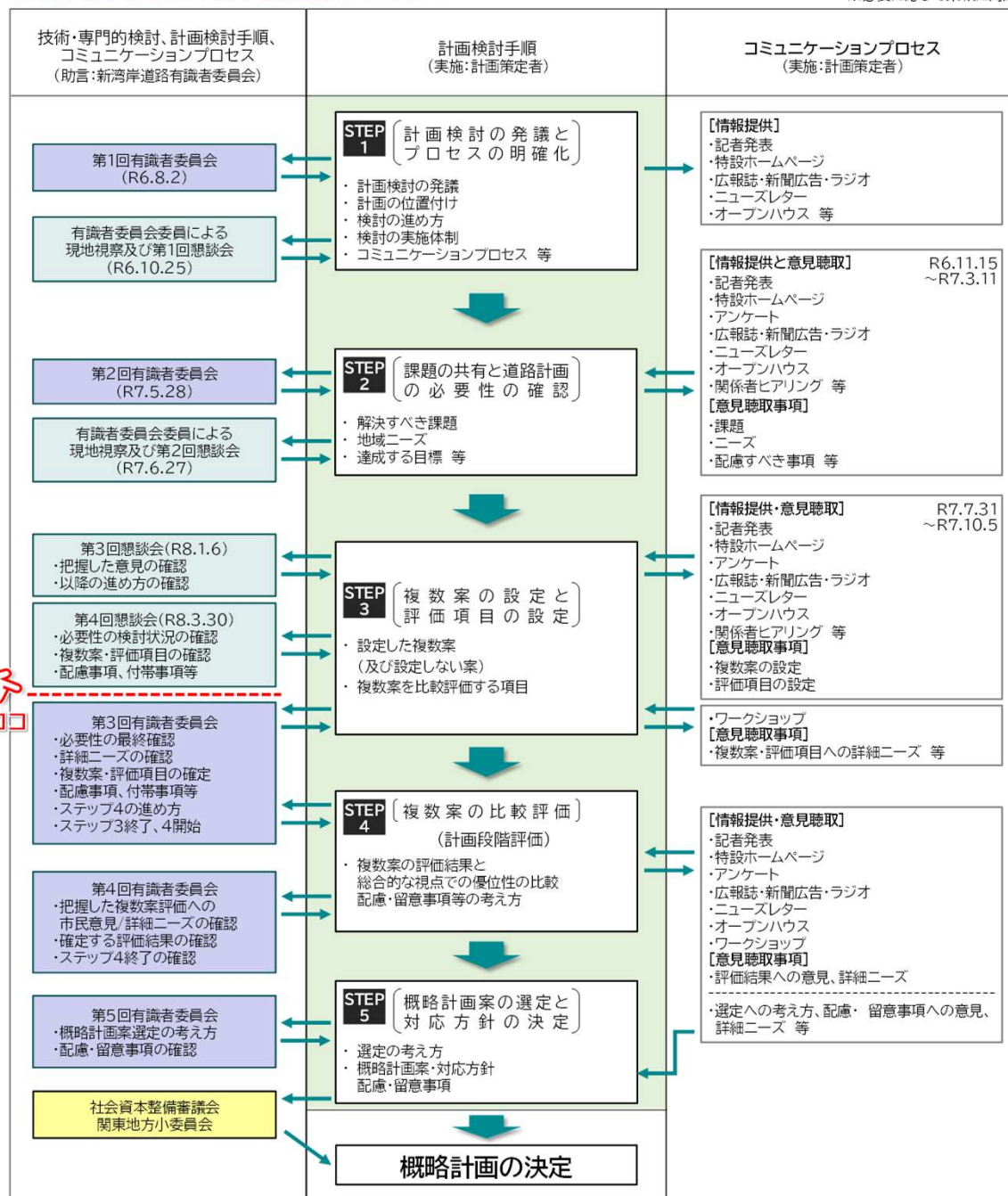
2. 計画検討の進め方

第5号

2026.4

●新湾岸道路の計画検討プロセス※

※必要に応じて柔軟に対応



※社会資本整備審議会関東地方小委員会に適宜報告(未定)

3. コミュニケーションの状況(第1回目)

新湾岸道路(外環高谷JCT周辺から蘇我IC周辺ならびに市原IC周辺)計画の検討に関する情報をお届けします!

未来をつなぐ 新湾岸道路プロジェクト

第3号

2025.7

たくさんのご意見ありがとうございました

令和6年11月15日から令和7年3月11日にかけて新湾岸道路プロジェクトのコミュニケーション活動を実施し、「湾岸地域において解決すべき課題」「新湾岸道路に期待すること」「新湾岸道路について配慮すべきこと」「道路の付加機能」「計画検討の進め方」等について、アンケートやヒアリングを通じてたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

アンケートは、たくさんの方々にご協力いただき、4,331件のご意見をいただきました。

アンケートでいただいた全てのご意見は、新湾岸道路プロジェクトのポータルサイトに掲載しています。

全てのご意見
はこちら



<オープンハウスの様子>



アリオ市原



幕張PA(下り)

「湾岸地域において解決すべき課題」「新湾岸道路に期待すること」「新湾岸道路について配慮すべきこと」「道路の付加機能」についてのご意見は、「ご意見の要旨」として44項目に整理し、対応案を検討しました。

分類		寄せられたご意見の要旨	対応案
交通需要	将来は不要	(1) 道路を作ることが目的になっているのは問題 (2) 整備しない場合も案に含めて欲しい (3) 将来の交通需要は減少し道路は必要ないのではないか疑問 (4) 国道357号などの混雑区間のみを整備すれば十分だと思う	• 整備しない場合との比較を含め、具体的に検討していきます
	将来にも対応	(5) 将来の開発や移動需要を見据えて計画することが大切	• 将来の開発や移動需要を見据えて検討していきます
	一般道の渋滞	(6) 一般道(国道357号、国道14号等)の慢性的渋滞の解消に期待 (7) 渋滞に伴う移動時間が無駄	• 幹線道路の渋滞緩和や特定時間帯の渋滞解消は、「達成すべき目標」の「交通渋滞」に含めて検討していきます
	特定時間帯の渋滞	(8) 通勤時間帯や休日の激しい渋滞の解消に期待	

3. コミュニケーションの状況(第1回目)

新湾岸道路ポータルサイト



■Webアンケート画面

新湾岸道路プロジェクト
アンケートフォーム

新湾岸道路プロジェクトについてあなたのご意見をお聞かせください。

お住いの地域（都道府県） **必須**

選択してください

性別 **任意**

☐ 男性 ☐ 女性

年齢 **任意**

選択してください

職業 **任意**

選択してください

湾岸地域※の道路の利用状況についてお答えください。

※湾岸地域：千葉市、市川市、船橋市、習志野市、市原市、浦安市の沿岸部地域と考えています。

普段湾岸地域でご利用されている主な交通手段は何ですか？ **必須**

☐ 自動車 ☐ 公共交通（バス、タクシー）
☐ バイク ☐ 自転車
☐ 徒歩 ☐ その他（電車などを含む）
☐ 利用しない

ご利用の主な目的は何ですか？ **必須**
(複数選択可)

☐ 通勤・通学 ☐ 家事・買い物
☐ 仕事（営業・運送等） ☐ 通院
☐ 観光・レジャー ☐ その他

■アンケート票(ニュースレター折込)

アンケートの回答方法

アンケートへの回答については、以下の2つの方法をご用意しています。
どちらかご回答しやすい方法でご回答ください。 ※両方お答えいただくことはできません。

1 スマートフォンやパソコン等で回答

・Webアンケートサイトからご回答ください。
右記のQRコードから意見フォームへアクセスできます。
アンケート期間：令和6年11月15日(金)
～令和7年2月28日(金)

2 郵送にて回答

・下記の回答用紙にご記入いただき、返信用封筒を
ご利用のうえ、期間内にポストに投函してください。
アンケート期間：令和6年11月15日(金)
～令和7年2月28日(金)

回答用紙 (1/2)

差し支えない範囲であなたについてお聞かせください

●お住まいの地域	県・都	市・区	●性別	☐ 男性 ☐ 女性
●ご年齢	☐ 20歳未満 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70歳以上			
●職業	☐ 会社員 ☐ 公務員 ☐ 自営業 ☐ 学生 ☐ 主婦・主夫 ☐ その他			

湾岸地域※の道路の利用状況についてお答えください

●普段、湾岸地域でご利用されている主な交通手段は何ですか？

☐ 自動車 ☐ 公共交通（バス、タクシー） ☐ バイク ☐ 自転車 ☐ 徒歩 ☐ その他（電車などを含む） ☐ 利用しない

●ご利用の主な目的は何ですか？ (複数選択可)

☐ 通勤・通学 ☐ 家事・買い物 ☐ 仕事（営業・運送等） ☐ 通院 ☐ 観光・レジャー ☐ その他 ☐ 利用しない

●どの程度の頻度でご利用になりますか？

☐ 週5回以上 ☐ 週3～4回 ☐ 週1～2回 ☐ 月1～2回 ☐ 年数回（年1～6回程度） ☐ 利用しない

※湾岸地域：千葉市、市川市、船橋市、習志野市、市原市、浦安市の沿岸部地域と考えています。

問1)湾岸地域において解決すべき課題についてお聞かせください。

湾岸地域には、どのような解決すべき課題があると思いますか？
以下、5段階評価で当てはまる1～5を一つ選択してください。
(5段階評価) 1.そう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまり思わない 5.全く思わない

交通渋滞	1	2	3	4	5
交通事故	1	2	3	4	5
医療 (救急搬送など)	1	2	3	4	5
防災 (道路ハザードの多重化など)	1	2	3	4	5
物流の円滑化	1	2	3	4	5
港湾・空港へのアクセス性	1	2	3	4	5
生活環境 (抜け道利用など)	1	2	3	4	5
その他()	1	2	3	4	5

是非、具体的にお書きください。左記以外でも構いません。

回答用紙 (2/2)

問2) 新湾岸道路に期待することについてお聞かせください。
あてはまる項目について、☒ をお願ひします。(複数選択可)

☐ 交通渋滞の緩和 ☐ 交通事故の減少 ☐ 救急医療施設への円滑な輸送 ☐ 災害時に使用できる道路ネットワークの確保 ☐ 産業・観光拠点へのアクセス性向上 ☐ 港湾・空港へのアクセス性向上 ☐ 生活環境の改善 (抜け道利用等の軽減など) ☐ その他 ☐ 特になし	是非、具体的にお書きください。左記以外でも構いません。
---	-----------------------------

問3) 新湾岸道路について配慮すべきことをお聞かせください。
あてはまる項目について、☒ をお願ひします。(複数選択可)

☐ 豊かな自然環境 (三番瀬※等)の保全 ※ 浦安市、市川市、船橋市、習志野市の東京湾沿いに広がる約1,800haの自然環境の多様性を残している貴重な干潟・浅海域 ☐ 海への眺望景観の保全 ☐ 生活環境の保全 (騒音・振動など) ☐ その他 ☐ 特になし	是非、具体的にお書きください。左記以外でも構いません。
---	-----------------------------

問4) その他、利用しやすい道路となるためのアイデアや道路の付加機能、新湾岸道路の計画検討の進め方などについてご自由にお書きください。

裏面に続く

4. 課題、ニーズ、目標、配慮事項

第3号

2025.7

👉 寄せられたご意見を踏まえて「達成すべき目標」を見直しました

今回のコミュニケーション活動で寄せられたご意見及び千葉県の上位計画である「千葉県総合計画」を踏まえて「達成すべき目標」を設定しました。

	交通渋滞	交通事故	医療	防災	物流・産業・観光	港湾・空港拠点 アクセス性	生活環境
達成すべき目標	高速道路・幹線道路の適切な機能分担による交通混雑の緩和	高速道路への交通転換を促進し、事故発生時にも代替経路が確保される道路ネットワークの形成	交通の円滑化による医療施設への速達性や定時性の確保	災害発生時の避難・復旧を支える道路ネットワークの構築	地域経済の発展を支える産業拠点・観光拠点への速達性とアクセス性の向上	千葉港や成田・羽田空港へのアクセス性と時間信頼性の向上	生活道路事故の解消や歩行者・自転車の安全性を高める骨格道路ネットワークの形成

👉 寄せられたご意見等を踏まえて「配慮すべきこと」を見直しました

目標と同様に当初設定した配慮事項(案)に対し、コミュニケーション活動で寄せられたご意見等を踏まえて「配慮すべきこと」を設定しました。

	自然環境	景観	居住環境	経済性
配慮すべきこと	豊かな自然環境への配慮	海辺の眺望景観の保全	居住環境(沿道環境、海とのつながりやレクリエーション等)の保全	事業費

5. コミュニケーションの状況(第2回目)

新湾岸道路(外環高谷JCT周辺から蘇我IC周辺ならびに市原IC周辺)計画の検討に関する情報をお届けします!

未来をつなぐ 新湾岸道路プロジェクト

第5号

2026.4

第2回コミュニケーション活動をご報告します

新湾岸道路プロジェクトの第2回コミュニケーション活動(令和7年7月31日~令和7年10月5日)では、「複数案(ルート帯と構造)」及び「評価項目(案)」等について、地域のみなさまから多くのご意見が寄せられました。

寄せられた全ての自由回答のご意見については、令和7年11月21日にホームページにて公表するとともに、令和8年3月12日には、ご意見の内容に応じて集約・区分した意見要旨として公表しました。

<オープンハウスの様子>



5. コミュニケーションの状況(第2回目)

第4号

2025.7



案1-1 道路新設案 (高架構造を主体)	案1-2 道路新設案 (地下構造を主体)	案2 現道拡幅案 (一部道路新設)
想定浸水高 1~5m 既設道路の機能確保 ※概ね全線に渡り高架構造を想定 ※車線数は、4~6車線を想定	既設道路の機能確保 ※JCT部・航路部・航路部と近接する陸上部の各区間等は高架構造を想定 ※車線数は、4~6車線を想定	現道拡幅 国道357号・国道16号 現道拡幅 ※新設区間は、概ね全線に渡り平面構造を想定 ※車線数は、4~6車線を想定

5. コミュニケーションの状況(第2回目)



2025.7

■ 複数案(ルート帯と構造)と評価項目(案)

評価項目(案)		
比較ルートの考え方		
標準的な断面 (イメージ)		
現時点で想定している標準的な横断面を示すものであり、今後、詳細に検討します。		
達成すべき目標	交通渋滞	慢性的な渋滞の改善
	交通事故	交通機能分担による交通事故の減少及び事故発生時や災害時におけるルートの選択肢の増加
	医療	救急搬送時の速達性とアクセス性の向上
	防災	信頼性が高い道路ネットワークの強化による迅速な救援・物資輸送の実現
		災害時における一時避難場所の確保
	物流・産業・観光	産業拠点や観光拠点とのアクセス性及び速達性の向上 (危険物積載車両の通行制限が無い等)
	港湾・空港拠点 アクセス性	空港・千葉港へのアクセス性及び時間信頼性の向上
配慮すべき点	生活環境	生活道路へ流入する交通の減少による生活道路の安全性向上
	自然環境	三番瀬や谷津干潟及び養老川等の自然環境
		動植物の生息環境及び生育環境
	景観	海辺や地域が重視している景観
	居住環境	沿道環境(騒音・大気質等)
		海とのつながりや海辺のレクリエーションの場や居住地からの海辺の眺望景観
	経済性	用地取得に関するリスク(用地取得に必要な時間等)

車賃費 注5、注6

比較評価(案)	
案1 道路新設案	
案1-1 道路新設案(高架構造を主体)	案1-2 道路新設案(地下構造を主体)
沿線市の市街地や自然環境(三番瀬や谷津干潟)を避け、既存の公共用地を有効活用し、千葉港や京葉臨海工業地帯へのアクセス性を向上させるルート案	
※概ね全線に渡り高架構造を想定 ※車線数は、4～6車線を想定	
新設道路への交通転換が図られることで現道の慢性的な渋滞が緩和し速達性の向上が期待できる 新たな道路ネットワークが形成されることにより、交通分散が図られる上に現道の主要渋滞箇所を通過しなくなるため、走行性及び定時性は向上する 高速道路の選択肢が増加することにより、通過交通の転換促進が図られ、一般道路との機能分離が期待できるため、走行性及び定時性は向上する	
新設道路への交通転換が図られることで通過交通を幹線道路(現道)から分離し、渋滞が緩和されることで渋滞を起因とする事故の減少が期待できる 事故や災害等による高速道路の通行止め発生時に迂回路として機能する	
救急医療機関への救急搬送時の速達性とアクセス性の向上が期待できる	
浸水想定高よりも高い位置での整備を行うため、津波・高潮等の影響を受けにくく、迅速な救援・物資輸送経路として機能する	
千葉港(葛南中央地区)へのIC整備により、連絡路が確保され、孤立化のリスクが低減される	
浸水想定高よりも低い位置での整備となるため、津波・高潮時の避難場所としての活用が可能	
交通分散が図られることで、並行する高速道路の混雑が緩和し、産業拠点や観光拠点への速達性の向上が期待できる IC整備により観光施設へのアクセス性が向上し、新たな観光・集客拠点の創出が期待できる 新たな道路ネットワークを形成することで物流拠点へのアクセス性の向上が期待できる	
高架構造のため、危険物積載車両の通行制限はない	
・水底トンネルやトンネル延長が5km以上となる場合にもなる可能性がある	
新たに道路ネットワークを形成することで、東京都心や羽田空港と成田空港方面への速達性や時間信頼性の向上が期待できる 千葉港(千葉中央地区)へのIC整備により、千葉港へのアクセス性の向上が期待できる	
新設道路への交通転換が図られることで生活道路へ流入する通過交通が減少し、生活道路における交通事故の減少や歩行者・自転車の安全性の向上が期待できる	
三番瀬や谷津干潟を避けることが可能 三番瀬や谷津干潟及び養老川等に形成された生態系に与える影響を検討する必要がある 三番瀬や谷津干潟及び養老川等に生息及び生育する動植物に与える影響を検討する必要がある 海辺や地域が重視している景観に与える影響を検討する必要がある 交通分散が図られ渋滞が緩和し、現道の沿道環境の改善が見込まれる可能性は大きい、新設道路に対する沿道環境対策は検討する必要がある 自然との触れ合い活動の場となる海浜公園などの海辺とのアクセス性は新設道路の橋脚により低下する可能性があるが、高架の桁下を有効活用できる可能性がある。 千葉港(葛南中央地区)へのICの整備により、自然と触れ合い活動の場となる三番瀬へのアクセス性が向上する 居住地からの海辺の眺望に与える影響を検討する必要がある	
一部用地取得が必要であり、用地取得には、ある程度の時間を要する可能性がある	
約1兆円	
約2兆円	

注1 インターチェンジの略で高速道路と一般道路の出入口 注2 対策をしない案とは第2回新設道路有識者委員会提示した「新たな道路を整備しない案」のことである 注3 ジャンクションの略で高速道路相互を直接接続する施設 注4 比較評価(案)は、次の段階で評価する

5. コミュニケーションの状況(第2回目)

新湾岸道路ポータルサイト

新湾岸道路プロジェクト

～ 構想段階（概略ルート・構造）の検討を進めています～
複数案と評価項目について、皆様のご意見を募集しています

新湾岸道路ポータルサイト
詳しくはコチラ>>

Webアンケート画面

新湾岸道路プロジェクト
アンケートフォーム

本調査は、新湾岸道路（外環高谷JCT周辺から蘇我IC周辺ならびに市原IC周辺）の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聞きするためにアンケート調査を行うものです。

ご回答いただいた個人情報は、プライバシー保護に配慮し、統計的に処理されたデータとしてのみ利用いたします。

新湾岸道路プロジェクトについてあなたのご意見をお聞かせください。

お住まいの地域（都道府県） 必須

選択してください

性別 任意

☐ 男性 ☒ 女性

年齢 任意

選択してください

職業 任意

選択してください

問1）湾岸地域※にとって望ましいルートを考える際に重要だと思うことについてお聞かせください。

※湾岸地域：千葉市、市川市、船橋市、習志野市、市原市、浦安市の沿岸部地域と考えています。

問1-1）湾岸地域にとって、望ましいルートを考える際に重要だと思うことは何か。以下のそれぞれの項目について、4段階評価で当てはまるものを一つ選択してください。 必須

	4. 強く思う	3. どちらかという思う	2. どちらかという思う	1. 全くそう思わない
慢性的な渋滞の改善	☐	☐	☐	☐
交通機能分担による交通事故の減少及び災害時におけるルートへの選択肢の増加	☐	☐	☐	☐

アンケート票（ニューズレター折込）

アンケートの回答方法

アンケートへの回答については、以下の2つの方法をご用意しています。
どちらかご回答しやすい方法でご回答ください。 ※両方お答えいただくことはできません。

1 スマートフォンやパソコン等で回答

・Webアンケートサイトからご回答ください。右記のQRコードからアンケートフォームへアクセスできます。
アンケート期限：令和7年10月5日（日）まで

2 郵送にて回答

・下記の回答用紙にご記入いただき、返信用封筒をご利用のうえ、期限内にポストに投函してください。
アンケート期限：令和7年10月5日（日）まで

回答用紙（1/2）

差し支えない範囲であなたについてお聞かせください

●お住まいの地域	県・都	市・区	●性 別	☐ 男性 ☐ 女性
●ご年齢	☐ 20歳未満 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70歳以上			
●職業	☐ 会社員 ☐ 公務員 ☐ 自営業 ☐ 学生 ☐ 主婦・主夫 ☐ その他			

問1）湾岸地域※にとって、望ましいルートを考える際に重要だと思うことは何か。以下の①～⑧の項目について、4段階評価してください。

<4段階評価>
4. 強く思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全くそう思わない

① 慢性的な渋滞の改善	4	3	2	1
② 交通機能分担による交通事故の減少及び災害時におけるルートへの選択肢の増加	4	3	2	1
③ 救急搬送時の速達性とアクセス性の向上	4	3	2	1
④ 信頼性が高い道路ネットワークの強化による迅速な救援・物資輸送の実現	4	3	2	1
⑤ 災害時における一時避難場所の確保	4	3	2	1
⑥ 産業拠点や観光拠点とのアクセス性及び避難性の向上（乗換・積載車両の通行規制の有無等）	4	3	2	1
⑦ 空港・千葉港へのアクセス性及び時間信頼性の向上	4	3	2	1
⑧ 生活道路へ流入する交通の減少による生活道路の安全性向上	4	3	2	1
⑨ その他（ ）	4	3	2	1

※湾岸地域…千葉市、市川市、船橋市、習志野市、市原市、浦安市の沿岸部地域と考えています。

回答用紙（2/2）

問2）望ましいルートを考える際に配慮しなければならないことは何か。以下の①～⑦の項目について、4段階評価してください。

<4段階評価>
4. 強く思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全くそう思わない

是非、具体的に書き下され。

① 三番瀬や谷津干潟及び養老川等の自然環境	4	3	2	1
② 動植物の生息環境及び生育環境	4	3	2	1
③ 海辺や地域が重視している景観	4	3	2	1
④ 沿道環境（騒音・大気質等）	4	3	2	1
⑤ 海とのつながりや海辺のレクリエーションの場や居住地からの海辺の眺望環境	4	3	2	1
⑥ 用地取得に関するリスク（用地取得に必要な時間等）	4	3	2	1
⑦ 事業費	4	3	2	1
⑧ その他（ ）	4	3	2	1

問3）ルート帯と構造に関するご意見（例：利用しやすい道路となるためのアイデアなど）についてご自由にお書きください。

湾岸地域の道路の利用状況についてお答えください

●普段、湾岸地域でご利用されている主な交通手段は何ですか？
☐ 自動車 ☐ 公共交通（バス、タクシー） ☐ バイク ☐ 自転車 ☐ 徒歩 ☐ その他（電車を除く） ☐ 利用しない

●ご利用の主な目的は何ですか？（複数選択可）
☐ 通勤・通学 ☐ 家事・買い物 ☐ 仕事（営業・運送等） ☐ 通院 ☐ 観光・レジャー ☐ その他 ☐ 利用しない

●どの程度の頻度でご利用になれますか？
☐ 週5回以上 ☐ 週3～4回 ☐ 週1～2回 ☐ 月1～2回 ☐ 年数回（年1～6回程度） ☐ 利用しない

本事業は、環境影響評価法（平成9年法律第81号、最終改正令和7年6月20日公布 法律第73号）に基づく計画段階環境配慮計画（仮称計画）の作成事業となるため、今回を含む今後の意見聴取は環境影響評価法に基づく計画書の案についてのご意見聴取の手続きを兼ねて行います。

ご協力ありがとうございました。

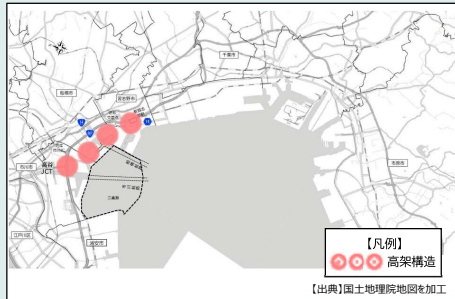
6. 提案された複数案

第5号

2026.4

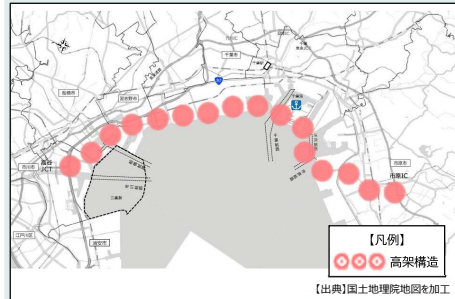
意見要旨45(意見①)

【一部区間整備(高谷JCT～船橋、高谷JCT～新習志野、船橋市内)】



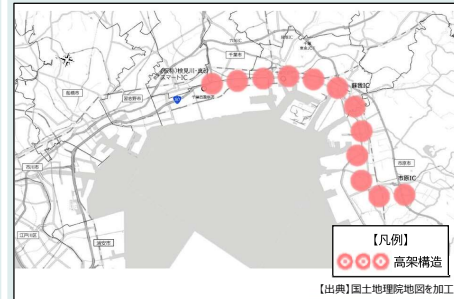
意見要旨45(意見④)

【一部区間整備(高谷JCT～市原)】



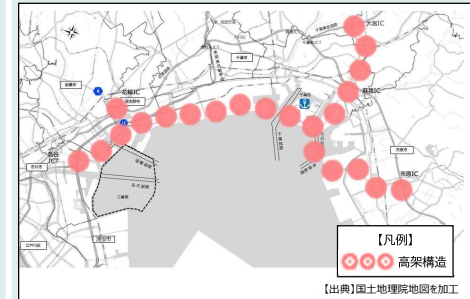
意見要旨45(意見⑦)

【一部区間整備(西千葉～市原)】



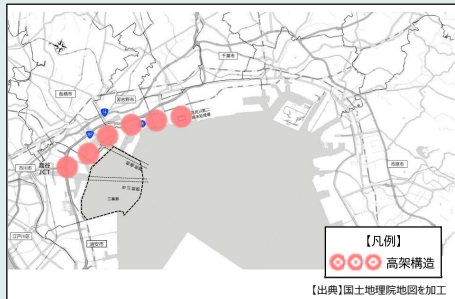
意見要旨47(意見⑩)

【接続箇所(花輪IC)】



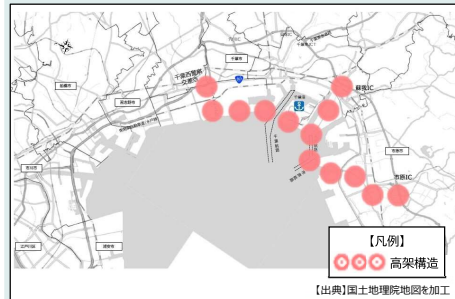
意見要旨45(意見②)

【一部区間整備(高谷JCT～幕張)】



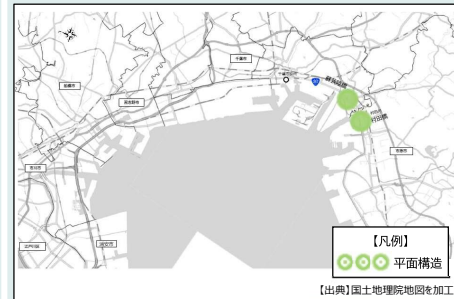
意見要旨45(意見⑤)

【一部区間整備(幕張～蘇我～市原)】



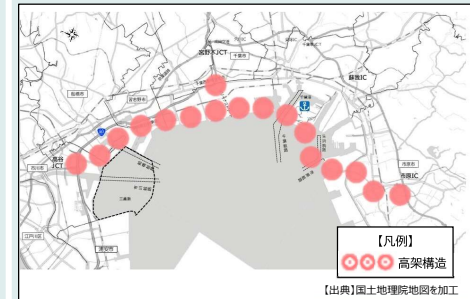
意見要旨45(意見⑧)

【接続箇所(蘇我陸橋～村田橋(千葉市内))】



意見要旨47(意見⑪)

【接続箇所(宮野木JCT)】



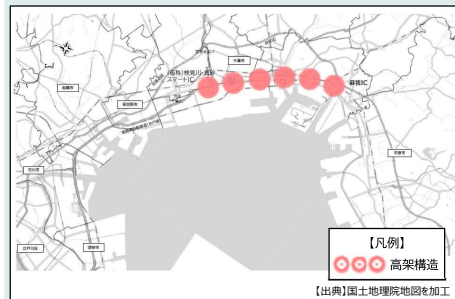
意見要旨45(意見③)

【一部区間整備(高谷JCT～蘇我)】



意見要旨45(意見⑥)

【一部区間整備(西千葉～蘇我)】



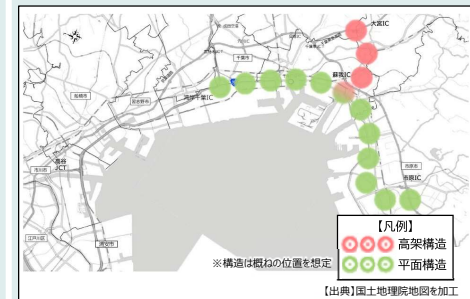
意見要旨46(意見⑨)

【案1→案2の組合せ(習志野付近/谷津船橋IC、幕張周辺)】



意見要旨47(意見⑫)

【接続箇所(京葉道路千葉東JCT、千葉東金道路大宮IC)】

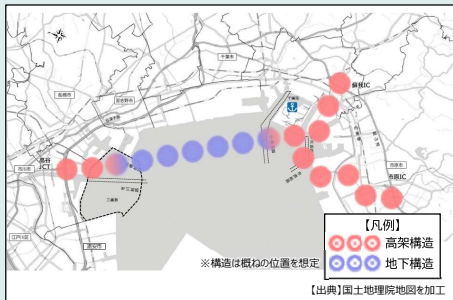


6. 提案された複数案

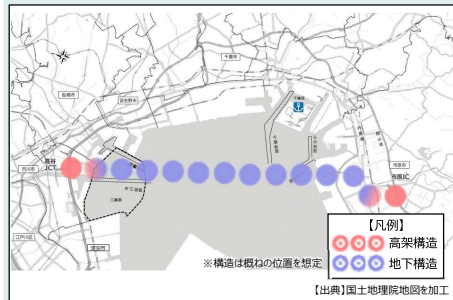
第5号

2026.4

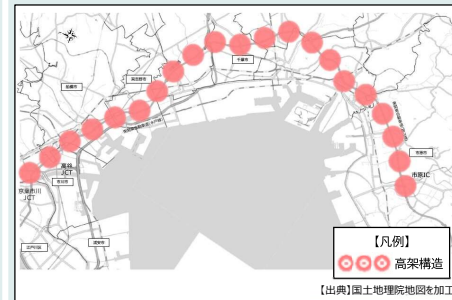
意見要旨48(意見⑬)
【三番瀬を通過(沖合沿い)】



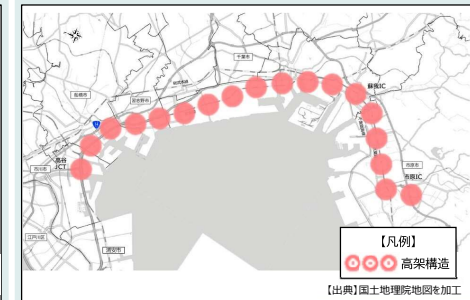
意見要旨48(意見⑮)
【三番瀬を通過(高谷～養老川(市原)、市川～京葉工業地帯)】



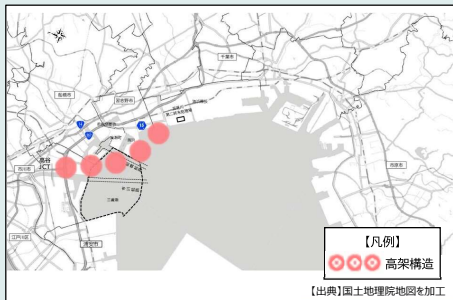
意見要旨51(意見⑰)
【既存インフラの活用(京葉道路、東関道(館山自動車道))】



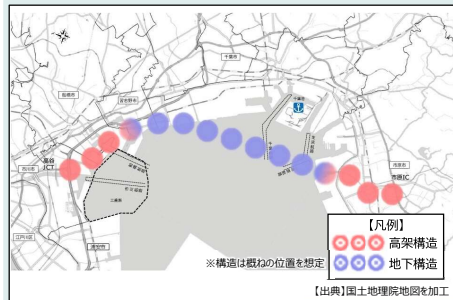
意見要旨52(意見⑲)
【既存鉄道敷の活用(JR京葉線、千葉臨海線)】



意見要旨48(意見⑭)
【三番瀬を通過(高谷～茜浜)】



意見要旨50(意見⑯)
【洋上を通過(幕張～市原、船橋～市原)】



意見要旨51(意見⑱)
【既存インフラの活用(東関道(水戸線))】



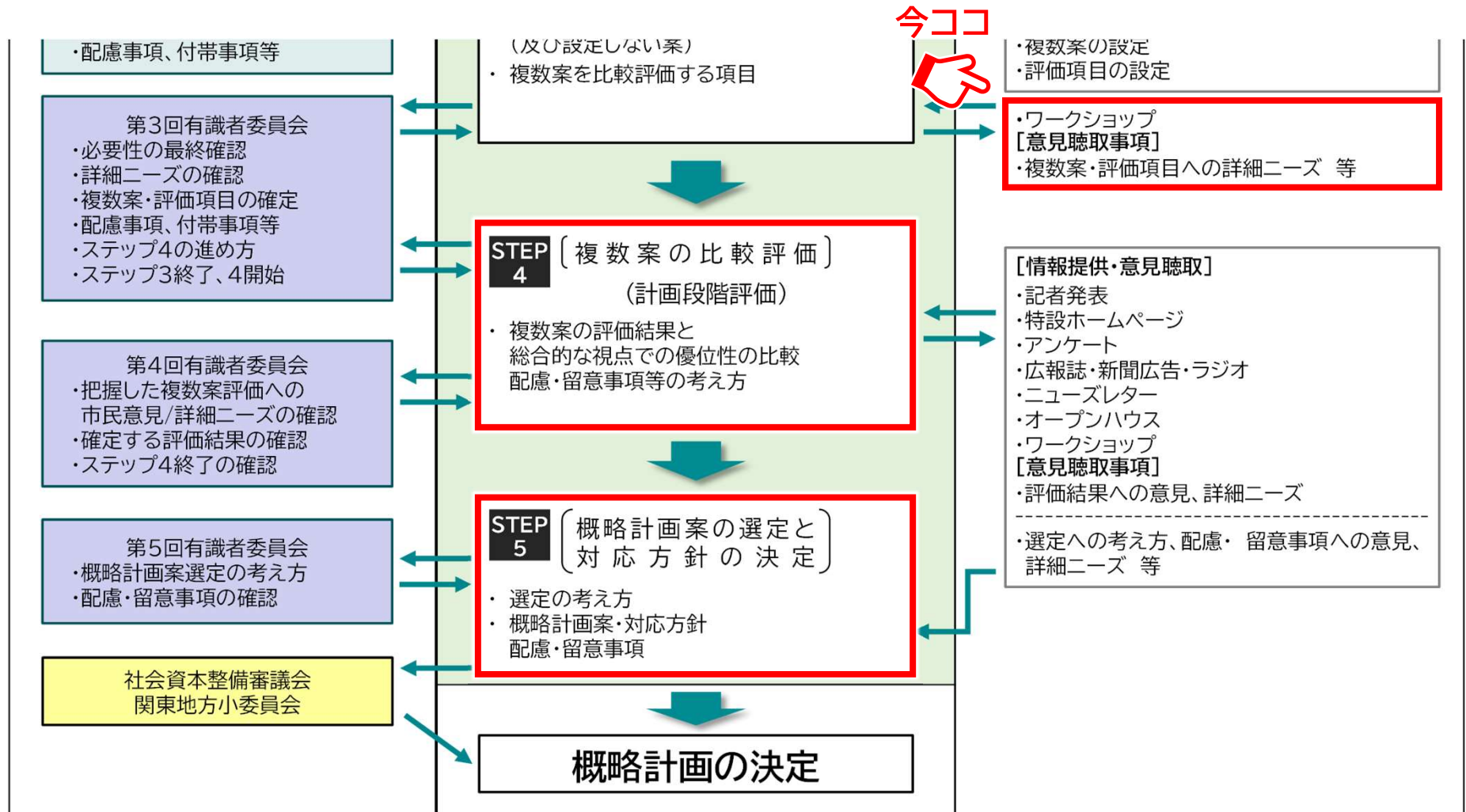
(参考)対策をしない案(ベースライン)



7. これからの検討の流れ

第5号

2026.4



※社会資本整備審議会関東地方小委員会に適宜報告(未定)